

野球人京都

発行
京都野球協会
事務局 / 京都市右京区西京極畔勝町15
集建産業株式会社内
TEL: 075-314-3288
FAX: 075-314-3310

木材・銘木卸・建築業 集建産業株式会社

京都市右京区西京極畔勝町15

2016 総会報告

二月二十六日に新・都ホテルに於いて定期総会が六十六名の出席の下、開催された。



三回京都野球殿堂五名の報告等も全て満場一致で承認された。

三回京都野球殿堂五名の報告等も全て満場一致で承認された。

最後に山下副会長の閉会挨拶で盛会のうちに散会となった。

ご来賓紹介(徳廣様、福林様を)

鈴木哲法
京都新聞社運動部長
橋本栄一
読売新聞京都総局長
村山嘉男
関西学生野球連盟理事長
池永修紀雄
関西六大学野球連盟理事長
今江光宏
京滋大学野球連盟副理事長
中本博
京都軟式野球連盟理事長

三回京都野球殿堂五名の報告等も全て満場一致で承認された。

最後に山下副会長の閉会挨拶で盛会のうちに散会となった。

ご来賓紹介(徳廣様、福林様を)

鈴木哲法
京都新聞社運動部長
橋本栄一
読売新聞京都総局長
村山嘉男
関西学生野球連盟理事長
池永修紀雄
関西六大学野球連盟理事長
今江光宏
京滋大学野球連盟副理事長
中本博
京都軟式野球連盟理事長

京都野球協会 乾会長 御逝去

かねてより病氣療養中の乾康之助会長が、昨年六月三日にご逝去されました。平成二十五年に第四代会長に就任されて以来、当協会の法人化、京都野球殿堂の挙行等の業績を上げられました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



尚、現在は榎木 寛副会長を会長代行として運営しています。

京都野球殿堂 第三回 顕彰楯除幕式

第三回の顕彰者五名は以下の通りです。

- ① 金田正泰 (大九〇平四) 平安中学在学中、春、夏と甲子園出場後、阪神に入団、二年目よりレギュラーに。首位打者。最多安打にも輝く。
- ② 中谷信夫 (大九〇平四) 京都第一工業(現洛陽工業高校)から立命館大学、社会人野球を経て昭三十二年に南海に入団一年目から

十五勝をあげた。昭二十六年には十四勝二敗で最高勝率のタイトルを獲得、現役引退後はコーチ、スカウトとして人材発掘に力を注いだ。

二、高校野球功労者
③ 西村進一 (大八〇平十八) 平安中学で八季連続甲子園出場の内野手。立命館大学を中退して名古屋軍へ入団。昭十八年に招集され戦地で右手首を失い選手生命を絶たれた。



昭二十六年のシーズン十八三塁打は現在も日本プロ野球記録。引退後は、阪神の監督として采配をふるった。

④ 富樫 淳 (大十三〇昭) 昭二十三年平安高校の監督に就任。義手にボールをのせて左手一本でノックする姿は「隻腕のノッカー」として話題になる。熱血指導が結果し昭二十六年、第三十三回夏の甲子園で優勝。その後、龍谷大学、社会人などで監督を続けた。

引退後昭三十年から平安高校の監督に就任。昭三十一年、

総務委員会

◆平成二十八年度事業報告
○役員会開催 十二回
○機関紙「野球人京都」第三十六号 発行
○五百歳野球開会式出席
○総会並びに懇親会開催

◆京都野球協会の主な活動年表
設立までの経緯は前号に記載したので、今回はそれ以降の主な活動を年順に

普及委員会

◆平成二十八年度事業報告
○日本新業の学童野球教室
○学童野球保護者への審判講習会
○第二十九回学童野球フェスティバル
○府内各連盟や支部の代表十七チームが出席。二条城北少年野球部が神明スポーツ少年団(宇治)を二対〇で破り優勝を飾る。

○第二十二回京都野球祭十一月十三日、わかさスタジアム京都にて
第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)
第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)
第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を二対〇で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)
○第二回硬式野球入門教室
昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

平27
○京都野球協会ホームページ開設
○第一回硬式野球入門教室を開催
○京都野球協会の一般社団法人登録

2016 京都球界

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会
優勝 同志社大学
準優勝 京都産業大学
ベスト4 京都大学
京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会
東海、北陸、近畿から二十八チームが出席。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。
○ニチダイの少年野球教室
○全国大会出場チームへのお祝
京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る
一、センバツ 平安高校
二、大学選手権 立命館大
三、都市対抗 花園大
四、高校選手権 京都翔英高
五、中学全国大会 桂中学校

京都野球殿堂委員会

六月十八日に第三回の顕彰者パネル除幕式を門川大作京都市長をはじめ多数のご来賓をお迎えして盛大に開催した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。



日本新業



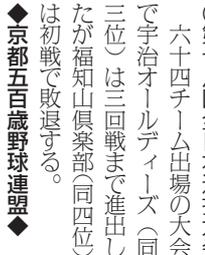
シニアスターズ

○第八十七回都市対抗野球日本新業が初の近畿地区第一代表として三年連続三十三回出場。ホンダ熊本、JR北海道を破り三年連続ベスト8も東京ガスに屈し初の四強成らず。
○第四十二回日本選手権
春の東京スポニチ大会優勝で予選免除。九年連続十九回目の日本新業は都市対抗と同じホンダ熊本との初戦を突破したが王子(愛知)に二対二で惜敗し八強を逃す。

2016 新入会員

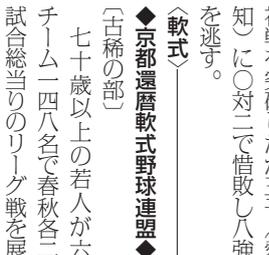
- 賛助会員
(株)東邦
一般社団法人日本女子プロ野球機構
(株)アイアムダスキンフクエ
東宝企画工業(株)
個人
塚本 宏 森 和彦
小柏 毅 山口 敦
羽田哲也 青地 寛
上野昌樹 秋山豊廣
森原 徹 飯田 勤
山田健嗣 田中美保子
上田佐久男 松尾賢二

◆京都還暦軟式野球連盟◆
七十歳以上の若人が六チーム一四八名で春秋各三試合総当たりのリーグ戦を展開。
◆第二十九回大会
大谷OBクラブが東山東友クラブを破り七年振九回目の優勝を飾る。

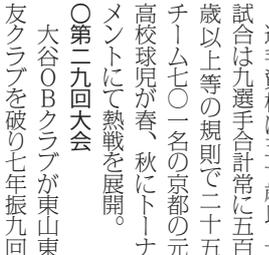


京都オールディーズ

◆京都軟式野球連盟◆
十八支部でA級九十二、B級一五三、C級三四一、(S級四十歳以上)は大会毎に出場チームを募集の五八六チームが加盟している。
A級
国民体育大会
佐川印刷(株)がスーパードラグONSを破り近畿予選へ。兵庫チームに快勝し本戦出場を待たず。高知、鳥取と完封勝利したが、準決勝で静岡に延長の末、惜敗。順位決定戦で岩手、群馬を破り五位入賞と健闘した。
○天皇賜杯第七十一回大会
スーパードラグONSが佐川印刷(株)を破り、又SECカノン(株)は前年度本大会優勝チームということで二チームが本戦に出場するもスーパードラグONSは初戦で、SECカノンは二回戦で各々惜敗する。



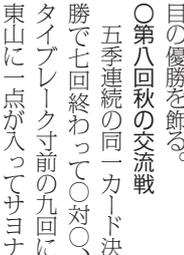
島津製作所野球部



シニアスターズ

○高松宮賜杯第六十回
IGA Y A ダイナマイツがリップバンクスを破って六十四チーム出場の大大会で宇治オールディーズ(同三位)は三回戦まで進出したが福知山倶楽部(同四位)に屈する。
◆京都五百歳野球連盟◆
選手資格は五十歳以上、試合は九選手合計常に五百歳以上の規則で二十五チーム七〇名の京都の元高校球児が春、秋にトーナメントにて熱戦を展開。
○第二十九回大会
大谷OBクラブが東山東友クラブを破り七年振九回目の優勝を飾る。
○第八回秋の交流戦
五季連続の同一カード決勝で七回終わって〇対〇、戦、鳥取チームを破るも二回戦で福島チームに惜敗す。

○第二十六回全日本古稀大会
全国から六十四チーム出場の大会に京都シニアスターズが六年連続六回目の出場でベスト8まで進出。



シニアスターズ

○高松宮賜杯第六十回
IGA Y A ダイナマイツがリップバンクスを破って六十四チーム出場の大大会で宇治オールディーズ(同三位)は三回戦まで進出したが福知山倶楽部(同四位)に屈する。
◆京都五百歳野球連盟◆
選手資格は五十歳以上、試合は九選手合計常に五百歳以上の規則で二十五チーム七〇名の京都の元高校球児が春、秋にトーナメントにて熱戦を展開。
○第二十九回大会
大谷OBクラブが東山東友クラブを破り七年振九回目の優勝を飾る。
○第八回秋の交流戦
五季連続の同一カード決勝で七回終わって〇対〇、戦、鳥取チームを破るも二回戦で福島チームに惜敗す。

大学野球

◆関西学生野球連盟◆
○春のリーグ戦
1 立命(大)
2 同関(大)
3 関近(大)
4 京大
5 近大
6 京大

第六十五回全日本大学選手権に立命館大が三年連続十七回目の出場。南東北代表の東日本国際大に大勝するも二回戦で札幌地区代表の東海大北海道に破れる。

◆京滋大学野球連盟◆
○春のリーグ戦
一部 大関(大)
1 花園(大)
2 龍谷(大)
3 学園(大)
4 佛大(大)
5 福公(大)
6 大谷(大)

(二・四位は同率ながら昨秋の順位にて決定)
前年秋、リーグ最下位だった花園大が、創部二十六年で初優勝を飾る。



立命館大学

○秋のリーグ戦
1 立命(大)
2 同関(大)
3 関近(大)
4 京大
5 近大
6 京大

同率になり優勝決定戦で勝った京産大が三季振十一回目のV。五度目の全日本選手権へ出場も北東北代表の富士大学に逆転にて惜敗する。

○春のリーグ戦
1 京産(大)
2 大商(大)
3 龍谷(大)
4 大院(大)
5 大経(大)
6 神院(大)

明治神宮大会出場をかけた関西地区大会(五連盟から二校が本大会進出)に学園大が出場したが敗退し二回目の出場成らず。

○秋のリーグ戦
1 大商(大)
2 京産(大)
3 龍谷(大)
4 神院(大)
5 大経(大)
6 大院(大)

京都産業大学
○第六十八回全日本大学選手権
標準式選手権大会
関西七リーグによる予選を経て京都からは府立医科大学(関西医歯薬大連盟)、京都産業大学(西都六大学連盟)、立命館大学(関西六大学連盟)が出場、京産大はベスト16、立命館大学が四強まで進出した。

二十四大学出場の本大会に出場、京産大はベスト16、立命館大学が四強まで進出した。



立命館大学

○秋季関西大学
七リーグの代表校によって開催。同志社、龍谷、府立医科大学が対戦し、決勝で同志社が龍谷を破って優勝、府立医大は初戦で同志社に破れた。

全日本選手権に出場も阪神リーグの関西国際大に延長十回、タイブレークの未借敗する。



同志社大学

○秋のリーグ戦
一部 大関(大)
1 学大(大)
2 佛大(大)
3 龍谷(大)
4 花園(大)
5 福公(大)
6 大谷(大)

明治神宮大会出場をかけた関西地区大会(五連盟から二校が本大会進出)に学園大が出場したが敗退し二回目の出場成らず。



京都文教大学

○第三十三回西日本大会
西日本十連盟よりの二十校にて開催。立命館大が京都文教大、大阪体育大、福山平成大、決勝では沖繩国際大も破り優勝に輝く。龍谷大は初戦で同志社大を破るが二回戦で、佛教大は初戦で敗退する。

○春の大会
平安が立命館を破り三年振二十六回目の優勝、近畿大会へ進出も大商大高に破れる。

高校野球

◆京都府高等学校野球連盟◆
○第八十八回センバツ大会
一昨秋の近畿大会で四強に入っていた龍谷大平安が四年連続四十回目の出場。明德義塾、八戸学院光星、明石商と破り甲子園通算九十九勝にする準決勝で智弁学園(奈良)に二対二で惜敗する。(智弁は初優勝を飾る)

○春の大会
京都翔英が塔南を破り初優勝、近畿大会に出場も初戦で智弁和歌山に破れる。○第九十八回全国選手権大会
福知山成美を決勝で破った京都翔英が創部二十三年目で初の夏の甲子園に出場するも樟南(鹿児島)に破れる。

○秋の大会
東山が翔英を破り二十二年振り九回目の優勝。近畿大会出場は二十年振十三回目を東山、四年振二回目の翔英、京都大会三位の平安は五年連続三十回目となるも東山は報復に、翔英は智弁学園に又平安も大阪桐蔭にと三校とも初戦で敗退し九年連続したセンバツ出場が危ぶまれている。
※平安出身で大阪体育大から大阪ガスの酒居投手がロッテに、翔英の石原捕手が楽天に、又京都国際の清水外野手は育成としてソフトバンクに入団が決まる。

○第六十三回全国大会
府大会優勝の朱雀が全国優勝、近畿大会に出場も初戦で智弁和歌山に破れる。○第九十八回全国選手権大会
福知山成美を決勝で破った京都翔英が創部二十三年目で初の夏の甲子園に出場するも樟南(鹿児島)に破れる。

○女子硬式野球連盟◆
全国高等学校
女子硬式野球連盟
福知山成美、京都外大西、京都両洋の三校一三三名がプレイしている。

○第二十四回全国高校選手権大会
府予選一位の京・相楽は一回戦で敗退したが、同二位の京都フレンド少年硬式野球協会はベスト8まで進出も神戸須磨クラブに破れる。

○第十七回全国高校選抜大会
十九校が出場の大会で両洋がベスト4まで進出したが西は二回戦で、成美は初戦で破れる。

○第二回西日本大会
両洋が高校、専門学校、大学チームを連破し四強に進出も環太平洋大に惜敗する。

○日本女子プロ野球に成美の森、西の星川、両洋の浅野の三選手が内定している。

中学野球

○第二十二回全国選抜大会
四十八チーム出場の大会で破って優勝を飾る。

現在、京都では以下の四リーグで三十四チーム、一〇六〇名がプレイしているが、全国では他にフレックシユ、ジャパン、サンの計七リーグがある。

◆日本少年野球連盟
(ポイスリーグ)
現在、京都では十五チーム五五〇名がプレイしている。

○第四十六回春季全国大会
京都南山ポイスが府予選決勝で京都洛北ポイスを破り本大会に出場するも初戦、東京城南ポイスに敗退する。

○第四十七回全国選手権大会
京都東山ポイスが京都二条ポイスに勝ち春と同年の四八チーム出場の本大会へ。町田ポイスに勝つも御坊ポイスに惜敗。

◆全日本少年硬式野球連盟
(ヤングリーグ)
府内では九チーム二五〇名がプレイしている。

○第二十四回春季全国大会
前年の戦績から京都一位の京都ブラックズ野球協会と同二位の京・相楽硬式野球クラブが出場したが、共に初戦で敗退する。

○第二十四回全国選手権大会
府予選一位の京・相楽は一回戦で敗退したが、同二位の京都フレンド少年硬式野球協会はベスト8まで進出も神戸須磨クラブに破れる。

○第十七回全国高校選抜大会
十九校が出場の大会で両洋がベスト4まで進出したが西は二回戦で、成美は初戦で破れる。

○第二回西日本大会
両洋が高校、専門学校、大学チームを連破し四強に進出も環太平洋大に惜敗する。

◆日本女子プロ野球に成美の森、西の星川、両洋の浅野の三選手が内定している。

れ決勝では京都市二位の桂が福知山市の日新を三対二で破って優勝を飾る。

◆京都軟式野球連盟
二十三名チームがクラブチームとして活動している大会には中体連の上位チームも参加している。○三十三回
全日本少年軟式野球大会
西京ビッグスターズが男山東中学校を破り近畿予選へ進出も和歌山チームに屈し本大会への出場は成らず。

○第三十三回全京都少年軟式野球選手権大会
京都ベアーズが西京ビッグスターズを破りV。近畿でも滋賀、大阪チームを連破し優勝を飾る。

○近畿少年秋季大会
(第九回大会長杯)
西京ビッグスターズが近畿へ進出し奈良の新庄中に勝ち(今春の全国大会出場権を得る)。門真ビッグドリームも破るも滋賀ユナイテッドに惜敗しV成らず。

◆京都府中学校体育連英◆
○第三十八回全国大会
江陽(丹後地区代表)綾部(中丹)、亀岡(口丹)、桂、嵯峨、花丹、双ヶ丘(京都)、広野、勝山(山城)、峰山(開催地)、丹後二位)の十校で府代表を決める第六十九回府大会で、桂が勝山を破りV。

○第二十四回春季全国大会
前年の戦績から京都一位の京都ブラックズ野球協会と同二位の京・相楽硬式野球クラブが出場したが、共に初戦で敗退する。

○第二十四回全国選手権大会
府予選一位の京・相楽は一回戦で敗退したが、同二位の京都フレンド少年硬式野球協会はベスト8まで進出も神戸須磨クラブに破れる。

○第十七回全国高校選抜大会
十九校が出場の大会で両洋がベスト4まで進出したが西は二回戦で、成美は初戦で破れる。

○第二回西日本大会
両洋が高校、専門学校、大学チームを連破し四強に進出も環太平洋大に惜敗する。

○日本女子プロ野球に成美の森、西の星川、両洋の浅野の三選手が内定している。

◆日本女子プロ野球に成美の森、西の星川、両洋の浅野の三選手が内定している。

○第四十六回春季全国大会
京都洛北ポイスが大津ポイスに勝ち全国へ出場するも初戦にて敗退する。

○第四十七回全国選手権大会
滋賀、奈良、兵庫、京都ジュニアスポーツ団が終野ブラックジャガーを破り優勝を飾る。

◆リトルリーグ関西連盟◆
京都東、南都の二チーム二八名がプレイしている。

○サンスポカップSSK旗
関西連盟選手権大会
南都は単独で、京都東は奈良との連合で出場、南都は初戦を突破した。

○第五十回サバスカップ
全日本選手権関西大会
南都が出場したが敗者復活五回戦で敗退した。

○ゼット杯第三十二回
関西連盟秋季大会
メジャーの部(五・六年生)南都、京都東(高槻、大田)と連合)が出場とにも一回戦は突破した。

○第四十五回中宿杯大会
一三四チームが出場。決勝で山科クラブを七対四で破った梅津倶楽部が優勝。阿波おどりカップ大会に出場したが広島チームに初戦で破れる。

○高田宮賜杯第三十六回
全日本学童軟式野球大会
(小学生の甲子園大会)
春の中宿杯ベスト十六チームで府予選。綾部ファイトアースが停明ホークス(福知山)を破って初優勝も本戦では残念ながら熊本チームに初戦敗退する。

○第四十八回中宿杯大会
一四三チームが出場し決勝で宇野野OJジュニアーズを破った梅津倶楽部が春に続いて優勝を飾る。両チームが近畿大会に進出するもいずれも奈良チームに破れる。

○第四十五回中宿杯大会
三十三チームが出場し葛野ジュニアスポーツ団が終野ブラックジャガーを破り優勝を飾る。

○第四十八回中宿杯大会
三十三チームが出場し葛野ジュニアスポーツ団が終野ブラックジャガーを破り優勝を飾る。

○第四十八回中宿杯大会
三十三チームが出場し葛野ジュニアスポーツ団が終野ブラックジャガーを破り優勝を飾る。

○第四十六回春季全国大会
京都洛北ポイスが大津ポイスに勝ち全国へ出場するも初戦にて敗退する。

○第四十七回全国選手権大会
滋賀、奈良、兵庫、京都ジュニアスポーツ団が終野ブラックジャガーを破り優勝を飾る。

◆リトルリーグ関西連盟◆
京都東、南都の二チーム二八名がプレイしている。

○サンスポカップSSK旗
関西連盟選手権大会
南都は単独で、京都東は奈良との連合で出場、南都は初戦を突破した。

○第五十回サバスカップ
全日本選手権関西大会
南都が出場したが敗者復活五回戦で敗退した。

○ゼット杯第三十二回
関西連盟秋季大会
メジャーの部(五・六年生)南都、京都東(高槻、大田)と連合)が出場とにも一回戦は突破した。

○第四十五回中宿杯大会
一三四チームが出場。決勝で山科クラブを七対四で破った梅津倶楽部が優勝。阿波おどりカップ大会に出場したが広島チームに初戦で破れる。

○高田宮賜杯第三十六回
全日本学童軟式野球大会
(小学生の甲子園大会)
春の中宿杯ベスト十六チームで府予選。綾部ファイトアースが停明ホークス(福知山)を破って初優勝も本戦では残念ながら熊本チームに初戦敗退する。

○第四十八回中宿杯大会
一四三チームが出場し決勝で宇野野OJジュニアーズを破った梅津倶楽部が春に続いて優勝を飾る。両チームが近畿大会に進出するもいずれも奈良チームに破れる。

○第四十八回中宿杯大会
一四三チームが出場し決勝で宇野野OJジュニアーズを破った梅津倶楽部が春に続いて優勝を飾る。両チームが近畿大会に進出するもいずれも奈良チームに破れる。

○第四十八回中宿杯大会
一四三チームが出場し決勝で宇野野OJジュニアーズを破った梅津倶楽部が春に続いて優勝を飾る。両チームが近畿大会に進出するもいずれも奈良チームに破れる。

○第四十五回中宿杯大会
三十三チームが出場し葛野ジュニアスポーツ団が終野ブラックジャガーを破り優勝を飾る。

○第四十八回中宿杯大会
三十三チームが出場し葛野ジュニアスポーツ団が終野ブラックジャガーを破り優勝を飾る。



南シニアフリーダム



二条城北少年野球部

各連盟、協会、チームのご協力ありがとうございました。